

まちの将来像

「しあわせホームタウン甘楽」

町民みんなが幸せで誰もが安心して暮らせるまちづくりを描き、町に関係するすべての人にとって「あたたかなふるさと」であり続けるため、まちの将来像を「しあわせホームタウン甘楽」と決めました。町民と共創によるまちづくりの実現に向けて、6つの分野で構成する総合計画の取り組みを紹介します。

1 住みたい・住み続けたいまち



周辺環境との調和や地域の特性を生かした基盤整備を進め、誰もが安全に安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

3 笑顔で暮らせる環境にやさしいまち



町民が環境問題を意識できるまちづくりと、水資源を生かした生活環境の確保を目指します。また、安全安心な地域社会を推進し、まちの魅力を積極的に発信します。

5 豊かな心と自分らしさを育むまち



未来を担う子どもたちへきめ細やかな教育を支援します。また、誰もが郷土愛を育み、生涯学習、文化・スポーツ活動に取り組めるまちづくりを推進します。

2 活力ある産業を育みにぎわいのあるまち



農林業や商工業の後継者、労働力不足の解消に取り組み、地域の特性や「甘楽」の名前を生かした魅力ある産業の振興を図り、にぎわいのあるまちを創出します。

4 誰もがつながり支え合う地域福祉のまち



町民が地域の一員であることを自覚し、支え合う社会をつくり、「すべての人に健康と福祉を」を目標に誰もがつながり支え合う地域福祉のまちづくりを推進します。

6 共創による持続可能なまち



地域と行政の連携により地域力の育成・向上を図り、個性あふれる共創のまちづくりを推進します。また、未来を見据えた持続可能な財政運営を行います。

ダイジェスト版をご覧ください

計画の詳細を見やすくしたダイジェスト版を広報と一緒に配布しました。計画全体は町ホームページに掲載しているほか、役場、ら・ら・かんら、にこにこ甘楽で閲覧できます。



いきいきかんらプラン

第6次
2022
2032

総合計画が



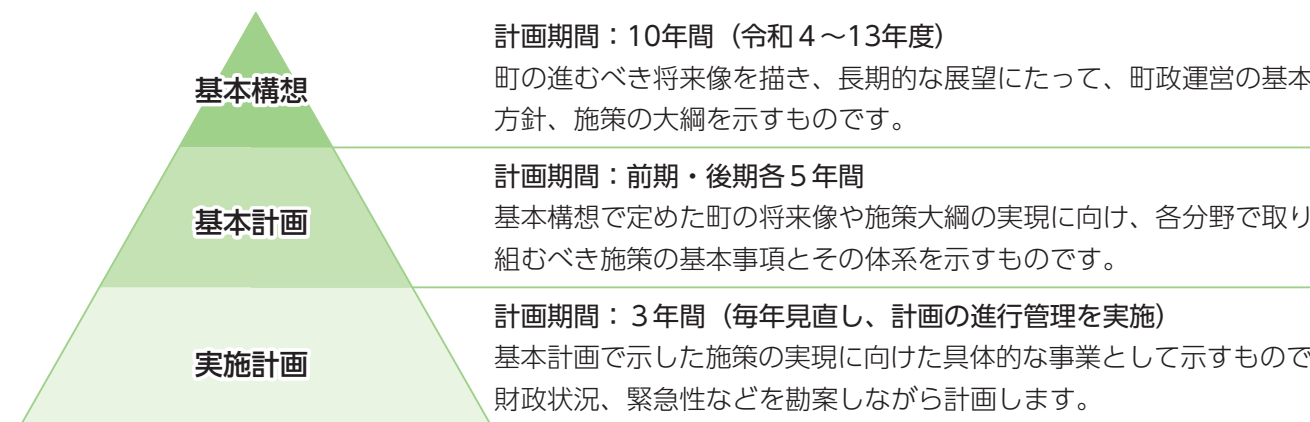
スタートします

町では、令和4年度から令和13年度までの10年間の計画期間とした「第6次総合計画」を策定しました。

総合計画は、まちづくりを進めるための指針となり、各分野にわたる町の事業を総合的かつ計画的に進めていくもので、甘楽町の活動の根拠となる最上位計画です。

重要施策の位置付け

- 安全安心なくらしの実現
- 少子高齢社会と人口減少社会への対応
- 地域の魅力を生かした共創のまちづくり



計画策定までの経過

計画策定には、町民アンケートや懇談会、審議会など多くの皆さんに協力していただきました。

懇談会
(3回)



一般公募・各団体代表者38人が参加し、6部会に分かれて意見交換を行いました。

審議会
(4回)



10人の委員が出席し、原案の審議を行いました。